



衆議院議員（福岡10区選出）

| 2023.7 きいたかしレポート |

きいたかし

〒802-0071 北九州市小倉北区東篠崎 1-4-1-201 TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535
(ウェブサイト) <http://www.kiitaka.net> (メールアドレス) smail@kiitaka.net

地元北九州市を代表して党政調会長代理、党広報本副本部長、国土交通委員会委員、憲法審査会委員として活動

政策提案と行政監視に全力

皆さん、こんにちは。
衆議院議員のきいたかしです。

2023年6月21日、第211回通常国会が閉会しました。応援いただいた皆様に心から感謝します。

今国会でも私は「この国と国民を守る」との信念のもと、暮らしや職場を良くする政策提案と行政監視の両立に全力を傾けました。

また地元北九州市の国への要望を実現すべく、様々な場を通じて国に働きかけを続けました。

今国会、私は国会質問10回、憲法審査会発言4回、議員立法提出5本、質問主意書提出9本との取り組み結果でした。
(詳細は裏面をご覧ください)

また、立憲民主党の内閣提出法案等への賛否結果、提出議員立法の結果については、閣法賛成率は76.3%、条約を含めて80%と是々非々を貫きました。
議員立法は41本提出、うち12本が成立しました。

解散総選挙は先送りになりましたが、振り回されることなく、私は対案主義・改革主義・現実主義の姿勢を貫きながら、地元での対話活動や政策提案の弾込めに引き続き努力を重ねます。

現場の声を基に国に改革を促す私の活動をこれからも応援いただければありがたいです。よろしくお願いいたします。

衆議院議員 きいたかし



きいたかし 第211回通常国会

内閣提出法案・条約・議院立法賛否の結果をまとめました

問題がある場合は対案を示して議論した上で反対、賛成する場合でも残る問題点を附帯決議で改善への国会の意志を提示とのスタイルで引き続き努力します。

	成立	賛成	反対	賛成率
閣法	59	45	14	76.3%
条約	11	11	0	100%
合計	70	56	14	80%
	提出本数	成立		うち委員長提案
議員立法	41	12		12

きいたかし 地元北九州市のことは党派を超えて | 2023.7 きいたかしレポート |

政務調査会長代理として野党第一党の政策をリード



政務調査会長代理として、「政策課題発掘チーム」（りっけんチェック）のチームリーダーを務めています。「国民が自分事と感ずること」「まだ世に出ていないこと」「国に資料があり国が調べるべきこと」を明らかにすることをテーマに調査を進め、テレビ中継のある予算委員会で、直接、内閣総理大臣に質しました。

国土交通委員会委員として道路・航空・港湾・運輸・物流政策をリード

元国土交通事務次官の民間企業への人事介入問題、船舶の抱える課題、北九州空港の滑走路延長、北九州港の施設整備や労働環境の整備、台湾周辺の日本船舶の安全確保、福岡空港から北九州空港へのダイバード、空き家対策の推進などについて国土交通大臣に直接質しました。

政務調査会長代理として議員立法の立案をリード

きいたかしが中心となって、さまざまな政策課題に関する議員立法を立案しています。筆頭提出者として1本、提出者として4本の議員立法を国会に提出しました。

- 1) 低所得子育て世帯給付金再支給法
- 2) 学校給食無償化法
- 3) 給特法廃止・教職員働き方改革促進法案
- 4) 天下り防止法案 ※筆頭提出者
- 5) 車内置き去り防止法案

地元北九州市の発展のきっかけづくりをリード

地元北九州市の国への要望実現に向けて予算委員会分科会で北九州港の老朽化対策、新門司地区複合一貫輸送ターミナルの整備、港湾施設の計画的整備、浚渫土砂処分場の整備、関門航路の深水確保、北九州空港の滑走路延長、洋上風力関連産業の拠点化、巨過市場の再整備などについて、国土交通大臣に市民の要望に沿った確実な取り組みを求めました。
令和5年度の国の予算における北九州市関係分についても国土交通省関係を中心に必要額をしっかりと確保いたしました。令和6年度も予算確保へ努力を重ねます。

テレビ中継される予算委員会で国会論戦をリード

政府の基準を超える過剰な政府基金の積み立てが合計1,436億円になることが明らかになりました。積みすぎているお金を国庫返納して子ども子育て予算に充てること、行政監視を強化することを、直接、内閣総理大臣に提案しました。

文部科学委員会で教育・子育て政策をリード

教職員の働き方を改革するため、定額働かせ放題の是正、給特法の廃止を文部科学大臣に提案。議員立法を提案し、国会に提出しました。生成AIにまつわる①クリエイターの権利保護、②教育現場での取り扱い、③学校現場での指針を夏休み前に準備することについて、文部科学大臣に要請しました。

子育て世代の代表として少子化対策・子育て支援をリード

党子ども子育てプロジェクトチーム座長として取りまとめた「子ども総合基本法案」を筆頭提出者として国会提出。党子ども若者応援本部の副本部長として、人生のさまざまな困難や壁をできるだけ減らして、一人ひとりの子ども・若者の人生選択の幅を広げていきたい、結果として少子化対策にもつなげたい、との思いで党を挙げて取り組み加速しています。



衆議院議員 きいたかし（城井 崇）のプロフィール

地元北九州で東奔西走。3子のパパとしても子育て奮闘中。

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。田原小、早稲中、門司高、北九州予備校(2浪)、京大卒業。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆院選で初当選。09、17、21年衆院選で当選(現在4期目)。文部科学大臣政務官、予算兼理事、国土交通兼理事、文部科学兼理事等を歴任。現在、衆議院国土交通委員会委員、憲法審査会委員、政務調査会長代理、広報本副本部長、子ども・若者応援本部副本部長、政策課題発掘チームリーダー、福岡県代表、福岡県第10区総支部長。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物:ラーメン、焼肉、焼きカレー。

